

# 社会的養護からの大学進学、 そして卒業へ

—大学が果たすべき役割を考える

2024年2月25日（日） 13:30-16:30（受付13:15～）

武蔵野大学武蔵野キャンパス @雪頂講堂



**Melissa Raap** メリッサ ラップ

Director of the University of Washington Champions Program  
ワシントン大学チャンピオンプログラム・代表



**Cierra Draper-West**  
シエラ ドレーパー - ウェスト

Counseling Services Coordinator of Champions Program  
ワシントン大学チャンピオンプログラム・コーディネーター



**中丸 冬葵**

IFCA当事者ユース



**早川 悟司**

児童養護施設子供の家  
施設長



**SUZU**

IFCA当事者ユース



**佐久間 桃子**

武蔵野大学 社会福祉学科  
学修支援室ソーシャルワーカー



コーディネーター  
**永野 咲**

武蔵野大学 社会福祉学科  
准教授

参加費無料・通訳あり

児童養護施設や里親家庭からの大学進学率は**22%**・・・  
卒業までにもたくさんのハードルがあるといわれています。

大きなヒントとして、米国ワシントン大学の「チャンピオン・プログラム」があります。社会的養護を経験した学生の卒業までを、学業支援にとどまらず常駐のソーシャルワーカーが支える取り組みです。

今回は、「チャンピオン・プログラム」のソーシャルワーカーを招聘し、大学卒業を果たした当事者ユース、児童養護施設の支援者、キャンパス・ソーシャルワーカーの立場から、社会的養護から進学する若者たちの卒業までを支える大学の役割について話し合います。

お申し込みはこちらから！ <https://questant.jp/q/MUSW>

主催：

武蔵野大学人間科学研究所  
武蔵野大学人間科学部社会福祉学科

This event is proudly  
supported by:



世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World

**IFCA**  
International Foster Care Alliance

**MU**  
Musashino University

お問合せ： 永野咲 (s-nagano@musashino-u.ac.jp)